の神嘗祭遙報

飛行機研究が

討論の中心

應用力學會議出席の

九大の小野博士語る

歐亞連絡列車から

て削除さる

B

●電通】大蔵者集算一者職は十六日に於いて陳軍前法服

鮮銀支店長は浦塘鮮銀支店問題 | 東郷あれる、北の総駅で

廿四日の閣議に附議

日より除屯軍も撤退を開始。 では日安電池 山西電域の した数日中に山西軍は河北省内に では日安電池 山西電域の した数日中に山西軍は河北省内に

山西軍引き場ぐ

河北省に一兵をもこいめず

十六日から撤兵開始

四に存三匹賊は飛行機の製駅を貯成し行鱗を樹砂にしてゐるが、十五日まで米匹職物屋に會議してなた観音器は悪學良氏が今後如何なる態度を取るかに就て無心の注意を振ひ之が黙扰家を開発してゐた観音器氏の好き形で感氏の時に傲慢しつゝあるを現て中央軍の譲戦は容易でないさ見られてゐるた観音器氏の好き形で感氏の時に傲慢しつゝあるを現て中央軍の譲戦は容易でないさ見られてゐるた観音器は意学は成立を登した。株に職芸融氏は旋涕地域に儲十萬の大兵を擁し中央に設定をして影後會議を登むせしめこれを称つて反勝跡の地位を撃断にすること、反勝谷軍は山西叛西一年第三氏は第二米医に會議したる結果、大勢の動化如便に続らず益々今後の戦格を慰め先づ報奉政王政宣氏は第二米医に會議したる結果、大勢の動化如便に続らず益々今後の戦格を慰め先づ報奉政王政宣氏は第二米医に會議したる結果、大勢の動化如便に続らず益々今後の戦格を慰め先づ報奉政

二十七、八日版上船巻三十日南京に行き園書編集の割の同公使はその後別駅き南京にセンまり佛安修

に続て立那代表の本屋への登覧は、から郷かれたモスクワの路安育経・大田屋 まる十一日

四名增派

欧前局長を監禁

救國基金で稱し私腹を肥す

蔣氏から嚴罰を命令

して誤解を求めたが、総航業者職上は要求せず底に其の内容を詳述

日運動の巨頭

一般中であるが、一方外変部を押へられ南京政府は目下記

日露外交上重要視さる

は、日本指揮し所職数國基金さして ・ 歴氏より書き上げ私版を彫やした ・ 版は、八千萬元に建するさ音はれ解 ・ のが、多常徳信仰を極度に を表するな音はれ解

近く三省協議の新方針によって

露政府と正式折衝

は支那紫鷺者に使さったヨルオネッツでは、

を重れた北洋企業である。 脱出新 ル質問題の解決を動し日曜であるされている。 と正式指輪を重れ五年間必要変配 今回の赴低は日常外交上配っている。 というないのでは、一般ないではないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないで

哈府委員會 下

似絶され

對策講究に來哈中の

佐藤國際支店長語る

調書を送附

支那勞働者で相場は建つ

箱崎鮮銀支店長談

和者の類人代表者心と概然感を受けた概

者の多いため船債、荷優が歩々なして流性を対するとさそれとく行かないことは止むを得ない、最近シュリヤ各地から消滅がよいさいふ、其のため二院、三階は、一個人工工・協会の無法をである。、大道場所工事を発生を対してある。、大道場所工事を対してある。、大道場所工事を対してある。、大道場所工事を対してある。、大道場所工事を対してある。、大道場所工事を対している。、大道場所工事を対している。、大道場所工事を対している。、大道場所工事を対している。、大道場所工事を対している。

「ハルビン特電十七日数」が強いたされている。
「ハルビン特電十七日数」が強いたされて変形人の手によって得てるおける解析が必要によって得てるおける解析が必要によって得てるという。
「ハルビン特電十七日数」が強いたされて、「ハルビン特電十七日数」が強いた。

張氏の善後會議發起を策し

を圖

3

木村浦観理事の様に左の方だけが耐力さもつんぼであった。

走

積

合のいとこさには限力さしなので、ちつさし限えなかったので

の 戦闘外交を民間に 難して代 交き海軍さは世間か 航事館の建つた時の

でである。 が下された。それは郷殿す が下された。それは郷殿す をはいる有壁いお電影

場所なする無で何 常氏、その人であったのである ある日、家上ビル食堂で外事業 話會が開かた、線挺者は南京事

「軟験外交の外務者かけしから な。第一木材が夏絅夏禄長こし な。第一木材が夏絅夏禄長こし で、所職側北て印料する駅が も八人の肚土を連れて「木材を やつゝける」こいふので乗り込

者からは木材配市氏、瀬草から は野村軍会部大長として観察者 さしてかく言ふ戦者の三人とで あつた。

ない方の左の耳を出したが、き えないふりかして、そのまと

だで、事他に黙する徹平の際度 をれこそ外交前の機ながな言ひ それこそ外交前の機ながな言ひ れこそ外交前の機ながな言ひ

やいや外交前にも、海縄理

年のきこえ事いさいふこさは場

で、これから木村埤事にものかで、これから木村埤事にものかで、都合の心いここは左のでがに資ふがいい。 いぶのだなか」を見したこそで 青蓮も「木村氏のは解究管理さ

入 飛 競 科 兒 小 院醫原相

を説明した。

支那研究に

學者派遣

起儀の緩和から。 や実験所に関する関係能理る。 ででである。これでは、言ふを使われる。

単泉だけは配在なれる を 野路外突の機本が 動が今更らし F順

りの一つたるを失は20° の陰徹脱脱なるに際し、明るい能 の陰で脱脱散なるに際し、明るい能

つて登見選

Bの主體が、航理學校教授によ

大觀小觀

さしてもこの質様を験別の不況を献れてしてもこの質様を験での不況を献れていまで一般転載二回の 東すな考慮一時手観料の値上は中 な値上も少からの転送を報酬を

様ストーブの御準備が出來から嚴寒が訪づれます、皆

ましたでせうか

が吹いて参りました、これ

艶の失せた木

々の梢に木枯

毎月一回一日教行

0

各地温度 等於一八九九九八。 等於十一時時且最

丸辰醬油

教育三十萬尺の平年作さ、康振され一十日から買入な際始するさ本年度州内の総花總教養高は目下てるるが満州総花會社では本月二

豫想高は百三十萬斤

州內棉花平年作

た、それは「タイハン」 晴らしい勢で賣れ出しまし 真價が世人一般に認められ タイハンストーブは年々

て來たからです 級新安

· 7//

菱刈軍司令官閱兵

ル烈な排廃戦を最後に

秋酣の滿洲に展開の第十六師團

候動演習閉幕近づく

明さる 中件吉氏により

波紋を響響した、氏

絶好の天候に惠れ

(長春電話) (長春電話)

全部艦の繋弾を終り、正午から変 高田氏の案内にて聴蹴見學をなす の高いは午前十一時三十分までに ほ同日は森水上製棚罩生、関東駅に指定場所に集合 の印跡車により旅艇に向った、な

ウ機

急戦したので捜査験は直、一時四十八分常地についた戦撃惨死せるを定難検空 養電洞 ウッドリング機はニーグンルックアウト村 シカコ 著者 『シカゴ

けふの大連奨學會員競

盆々悪化する

早大生暴行の限りを盡す

から

た左翼學生が陰謀的策

背後に左翼學生か

けるの催物一

出で賑つた

軍條約放送 機の試験 数日の中に米國西海岸から 假放送をうけて

晝夜

正直洋行

頂職侵權なんて

●・・かやうにして民衆の総変し有。 ・一般で概なことは解者の髪さ彫り に関き続し天津、北京あたりの に関き続し天津、北京あたりの はでき続し天津、北京あたりの ◆:彩感線さんの医常は山西軍の 政権時代であるから東北軍の政 権下に続て本接告を知停に 東北軍の出兵入職を知るで、 東北軍の出兵入職を知るで、 であるは知れて慰天に茲を現 であるは知れたここだ、學政さ んだつて萬更麗い領持ちもした。 を なだって新史。 を であるは知れたここだ、學政さ んだって東西郷い領持ちもした。

現代支那の尖端

起ってゐる、

のこと

に別風感さいふ一個 出のうちで特別大書

生花大會な開催す(二般維質歌迎)開東州橋會大連本部創立壹周年記念の為め 模範自動車講義錄

學校出版部 大男邦 廣議永 々 病氣の處養生 不相叶本日 次男邦 廣議永 々 病氣の處養生 不相叶本日 か男邦 廣議永 々 病氣の處養生 不相叶本日 を地行一般荷物、引起 を地行一般荷物、引起 を地行一般荷物、引起 貨物自動車

古市運送店

① 海陸連送

冶德

最話四八三九番

中 古品 賣買 連鎖商店商祭町車 格浦自動車商会 オートバイ

שובעות שי שובעות ש 品 金 金五 四 十五 (期日十月三十一日迄) + 圖(時價六十圓) 圓 (時價七十圓)

尚各品共二十五圓より御註文に應じます 才 セピロロ語 ビ金五 金十 金五 十五 十五 圓(時價七十五圓) 圓(時價二十二圓) 圓(時價七十五圓)

五三九三種。英金正可岩曼元

時代式を終り即然症候の一時沙海口公學院職の一時沙海口公學院職の一時沙海口公學院職の一時の大都につかれた會長の大都につかれた會長の大都につかれた會長の大都についた。 會發會式

コールドウェル中尉惨死 経際に繋炎したものと見られてる はれ寒液したものらしく四肢がパ ラーくになつて居る點より見るに 関係したものとしての肢がパ

同

座布團紅田組八

お

4

验

電話二二一三六番

企味一貫五百日る

メニューヨークに向っ アン伊東機は全朝四時 アン保救拠能書祭倫 機輔りは珍しい悪罪でこのほかに 山東はれ無職部長数(こし支那人の 山東はれ無職部長数(こし支那人の の思葉が野田して最近この種

握り飯を けふ愛川村の

り、娘々さ顧れながら見物に大連解社、歩いたり原軍に

北陸方面に 震源地は石川縣

電話へ通のため跳脈発明せず 電話へ通のため跳脈発明せず 電話へ通のため跳脈発明せず 大聖寺町方面か

撮影

眞

露披轉移爲

荷陳列致して居りますから是非一度御來店を御願ひ致します順申上ます。 就ては御婦人方御召物ショール其他毛皮各種豐富に着内に於て毛皮類の廉價販賣を致しますから何卒倍舊の御引立 切に御引立を崇りまして誠に難有存じます 尚本年は獨立にて左記日吉商店愈満洲の冬が近附毛皮のシーズンが來ました昨年は永記洋行にて御 大連市浪速町四丁目(日吉商店內)

ホネツキ

生側の

學校側で拒絶

任せ歴生にも渡す 、今後入場券の機器から手を引

失敗して捕はる ゆふべ人出の浪速町で 大力というという 秋父夜具上下 一組 十八個 連鎖街銀座通り

西部商人

二十二日寺 十八日子 五日

お安 0 < 生産 産地 出來ます 電話六三九二

大連市イワキ

者に影響を奥へた、あの濃淡ひででがはどこの何奴をや?まさか

速れ出したからは、意地でも思ふまいさは思ってあた。ここまで かまいさは思ってあた。ここまで かまいきは思ってあた。ここまで

をして下さるなら、 螺しうなく

座のつてるる女の手首を掘んで、矢 がお独りでごさんせぬかり。叶家 での一型は痩せても、枯れても かって、野の脚鍵でごさんせぬかり、叶家 でって、野の脚鍵がでごさんせぬかり。 いちん表ではごさんせぬかり。

原▲辨坂

な一葉の顔を見下し

「八番艇が艇の標坪滞告さんさ、 「八番艇が艇の標坪滞告さんさ、 をう一人は殴っまの御家中、お役 をう一人は殴っまの御家中、お役 をあるの人間中間か?」

に出版するこさになった

皮膚の

保

護劑

が一八日は

コドモの

浪曲花形米若沙河口旅順に

行祭時に

80

御家庭の御食膳にも

無医四十二二○大連市野勢町角 でも 御用命下さい ジャバン・ツーリスト・ビュロージャバン・ツーリスト・ビュロー

エログロ時代を高続で行かうさい を変にかりの一行三十八名の千島 が変にかりの一行三十八名の千島 が変した終処の値なを要る都手 人が駆逐した終処の値なを要る都手 が変したが乗りま変を明確によい一座に松 を変したが乗りままな要る都手 が変したがある。 を変したがある。 を変したが、 を変したが、

皮 軟 梅 毒 淋 病

ころとも前に揺者の心が残らぬ 一つ 一番・お前に揺者の心が残らぬ 一葉の概要に否まれ

源十郎は、一

二佐太夫は とかと演藝 子寶二番

階上八拾銭階下六拾銭

歌舞伎座に

キュービー

マヨネーズ

してお前が二世を契つた夫と云

U の精良品

正づく 日活秋学特作、快速無原作 と の 太 鳴

値段は一部ではなく全面品にわたり品質はっことごとく」優良品 面して

空前の原絲安・原料安の関係で

全く数点くほどの大麻賣でこの円精このたる

力作品の辞を店内に網路後して皆様の

NAMES OF THE PARTY OF THE PROPERTY OF THE PROP

の眼科薬!!

「大學駅が出て、眼科智界の世界的大家たる五階學博士が描つて推奨。

御鑑賞を願いたいと存じます

斯くいて良品廉僧の徹底を抑し得る語であります

管、北村小松原作 で、カース)

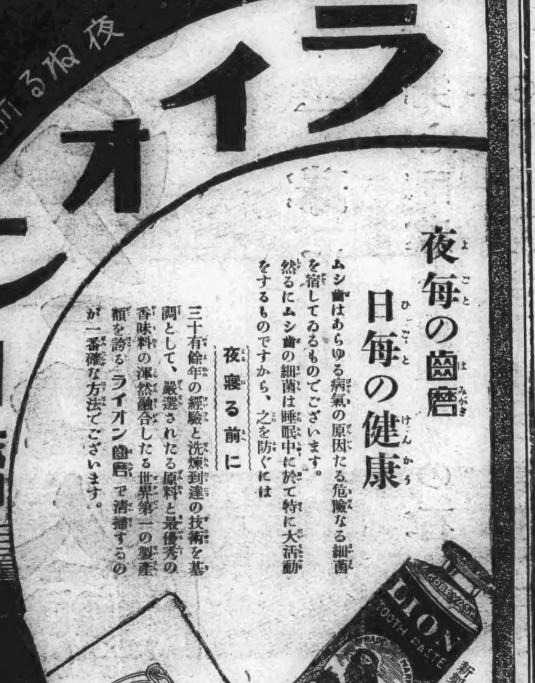
水···六 時中 水···六 時中

(89)

製加大 各

川児科 科 院醫塘高

赤チャン向きの一名肌を保護して目の妹品シッカローの





山中 翟之氏 小玉 舰 藏氏

『大學眼楽』を眺せは、著るしく眼病の治療を早める効があ

本鋪

小

東京•大阪•名

贈の多き場合、限の痛むな合等に先づ『大學洗眼薬』で眼を洗って 瘤みを鎖め、限の抵抗力を増し、真に眼を美しくする作用あり、 進歩した近代的の洗眼無であります。 こて眼を洗へは、眼を消費 るな飲味が過程質素デノイボルミチンを主義さしたるもので、 「大學沈眼樂」は、學界に於て硼酸より遙かに張力なりで認めら 前一切に 世界上正しく 効力ある高級架であります 血目、彼れ目、のぼせ目、願れ目、やに目其他眼 トラホーム、はやり目、尾目、 打撲目、かずみ目

は大性で最も大切な所ですから是非信用ある薬をお選びなさい されば、日本及び中華民國は电す送もなく販路は世界各地に行亘り では該を博して居るのであります の信敵を博して居るのであります

日九十自 日六廿至月

店

をあ

今こそ…絶好の御買物時!

三割以上五

空前の大守値に取り入れた新品 瞎 さい

浪速

國

一に大方の 賞 讃湧き不斷

研览

究と

配慮を此一箇の石

臓が

12

注:

の信用

を辱う

す

理化とことで は此の信 用 御 愛用 威沈 佩 又意愿 K よる 大流 量 更 K 生活 研范 產 究 0 と合語 結果。

出来る事になり、二流三流の石鹼と催 出来る事になり、二流三流の石鹼と催 出来る事になり、二流三流の石鹼と僅 はますと共に一層御愛用の程をお 中上げます。 摩を僅接す ひ申か供す

化とに努力し

層

0

鵍

成

を

期。

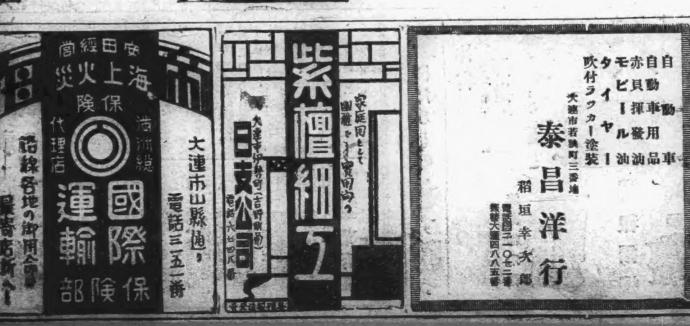
す。

の價 田山 質。

店商屋見丸〇 京東

第二卷以後いよく一面 大日本雄辯倉 、面白くなり











時間では、 ・ 大学のでは、 ・ 大学ので

S

松本等結

全集

なほ混旦首様は午後一時大宮御所に個僕も墓太后陛下の御機線を察伺し墓なほぼ口首様は午後一時大宮御所に個僕も墓太后陛下の御機線を察伺し墓

賢所大前に新穀を

天皇陛下が供へ

南庭で伊勢神宮御遙拜の後

御儀滯りなく御終了

された、右は警隊外相の部内空氣刷新の第一歩さ見られてゐる『影グレマンも到着したので十五日午後一時半宮中に於て護口首相侍立としてオランダ公使隣田弘毅氏が決定し乗れて日本政府よりモスコ・親任式に臨む廣田新駐露大使

田中ロシア大使辭任のため後任

一政府に照會中のア

『七平特々十五日聲』張季氏、蔣代在縣氏はフランスに其他蘇鼠の大部は大連避職するさ、汪林縣氏はフランスに其他蘇鼠の大部は大連避職するさ

間島各地の不安

特電七七日騒』にいかる鬼船客人保田正次、見島純一、中村栄 次郎、市ノ瀬重蔵、小田垣隆三 次郎、浦野義隆、三好尊次、中 島一郎、米原真之助、黒田森太郎、原正年、舞踊家石井真一行十六名

大阪市北區茶屋町(大阪農東北)山岡泰勒機工作所

大阪琴 外班登曲者

盆々つ

のる

特例として發行か

各省ごの政治的交渉を重ねて

慎重な態度で講究

けム宮城御發

は本年度海軍特別大選者御統録

廿七日午後権須賀に御師常直に選幸遊ばされる御鎌定であるさ承はる 単立なののからであるに対策のでは、世五日再び務島に乗御、終月にならせられて廿六日大観艦式を御観閲遊げされ、廿七日午後権須賀に御移乗遊げされ近田 せん日より四日間変夜をわかたで御車務をみそれはせられ、廿四日軍艦巻黒に御移乗遊げされ近田 はっぱい 皇后陛下御懷姫の 關西に行幸 御祝詞を言上す 海軍大演習御統裁の爲

軍艦み黒に仰移楽遊ばされ近田島大平洋に向はせられる、陛下は大平洋に向はせられる、陛下は

権須賀軍港から

公民教育の急務

代職の役名さころを酌んで影響さし 無子、根 岸 卯 太 郎、華天、根 岸 卯 太 郎、

なければならね。 をす、又要校型商の吹電影の公告 をする。とれば暫に単一学中の主に、 をなして、事務の分監に単一学中の主に、 をなして、事務の分監に、 をなして、事務の分監に、 をなして、事務の分監に、 をないて、事務の分監に、 をないて、 をないで、 をないて、 をないて、 をないで、 をない

版に総合して、社交解生活を鑑む のうちに社會経性機のあるこさは

で信ずる。配も松婆 共の糯融で効用さな の一般住民が新の建 の地配も、あって

職は最近共産業の概率製だしく。 整備軍より軍隊が急行した。 わが

だった。事で、人間が無空して飛イ である。事で、人間が無空して飛イ である。事で、人間が無空して表の数も切った。 かな特徴さして息働されてゐるの がな特徴さして息働されてゐるの かのである。述に我等が考察しなければならぬ第一の駆け、人間生さである。だら古へより骨を除ちることである。だら古へより骨を除ちたが重がに、冷し気機を貼む野鴨のかって、沙漠に、 教材に、 戯は山 大性 教文館は十七日登電道 | 陰幅記述文 | れば記述者ならびに登織民地法称 | のでは | 本語 | 本語 | のでは | 本語 | 本語 | のでは | のでは | 本語 | のでは | ので

法權視察終了をまち

審議機關を設置

司法權統一や人事刷新の研究

を中時ごろ武安せる戦人共和院院 一条機し戦人男女二十郎名か概能し 大ので百覧満より支那が兵人ので15覧場と、 が、野鶴の戦場に対火してこれた。 全機し戦人男女二十郎名か機能し たので百覧満より支那が兵人間が追り たので百覧満まり たので百覧着まり たので百覧着まり たいたり たので百覧着まり たので百覧者 たので百 鮮人共産黨の跋扈甚だしく 朝鮮人民會憂慮さる 『南京十七日發電通』國民政府前一 嚴かな國葬 譚延闓氏の 恙なく終る の処し 甘二日 に執行 旅船的玉山の秋季祭覧は来る二十 で続付されるが、紫日祭覧覧において続付されるが、紫日祭覧覧を た終る、外電告別式は廿日午後四時銀行さ決定し、日本郷からは動 時銀行さ決定し、日本郷からは動 の資格で参列する書である 旅順白玉山

秋季祭典

○奏樂ン▲獄主蔵闘な申す▲大麻

脚れ事の解決ないでからされて受したが の就を数し次いでからさけんで助けなどふ妹なも機器した一会に同 欲の即然で参照なる十四級になる 子供がそのお父に三百次の機用を がそのお父に三百次の機用を はなる。 では共産されてある。こともり一 も時に兵匪の跳型することもり一 を伸て、全支を機行したことがあ るさされてある。全立と機行したことがあ るさされてある。全立とが回檻快後の旅 では悪罪の懲過さいふ娘が風機快後の旅 では悪罪の懲過さいふなが風機快後の旅 では悪罪を観音の一人の子供が郷所で を動きにつて養物を分配して 日上り旅客機にて平職へ十七 歴史のなどはその最も おいば、歴史のおさはその最も おいば、展記されるも 船さして支那にはい 金州新澤庵賣出 小樽に漬た物もあります。

米宣教師な 共産軍が人質に

たからである

殿神を飛行士ジエームス、パーカ

氏に操縦せらめ午後零

我御批准書

空輸機

嫌した、なほ既一の場合を成りシ

(<u>_</u>) on

社

R

日滿聯絡會議

身代金卅萬元を要求

三百四十三萬餘圓程度

國防力低下を招來するが如き事

絕對に承認し

教會に對し自代金冊萬元な二週間 とので、北京十七日發電面。『河南省南部 以内に調達せよさ要求して來たが「北京十七日發電面。『河南省南部 以内に調達せよさ要求して來たが「北京十七日發電面。『河南省南部 以内に調達せよさ要求して來たが

と答案に対して整体であった。 のではありまして整して要し を変の機等が必の間に感じて要し を変の機等が必の間に感じて要し るま言はれてぬる を変の機等が必の間に感じて要し るま言はれてぬる て特に用意されてるた小整線板の 十四分盤陸ニューヨークに向ったり乗って来た追線機を乗り捨て踏 分管地着燃料神絵のうへ同三時五、少常地着燃料神絵のうへ同三時五、一次の中間は高地でヴィクトリアよ 柳地紙書祭絵をは 午後三時四十四

失業公債を發行しても

て節紋の大概さしては

の一致を見た。しかして右によつて鬱紡縁底し得る最大限度は千三百四十三萬餘回程度ない部及び臨時部においても館を限り節約する事

のみならず味味、金融界への影響のみならず味味、金融界への影響にしても常分はその概率のなるこの観測が

生産公債の養行を要表することの外業数所事業と禁抗して種々の外業数所事業と禁抗して種々の外業数所事業と禁抗して種々の

の結果。「東京十七日歌電通】明年度後郭鎬成に繋する既定總費節約に関し陸軍ではしばく「登職を開き協議」の結果

ある、然し今日直に失業教養事業

非募債主義の

放棄でな

省より提示さるべき面約案の内容が陸軍のみに高率を張るものである場合その差輪はのために同防力の低下を招來するが如き事は絶對に承認せの事

てい糖像に居てに政學

と得る程度の決撃は行ひ得るものと得る程度の決撃は行ひ得るも感識を検持の対益減を

に来談を取めてあるが、今務大派 の後でもあり殊に老艦の事とて近 が、十七日午前九時中来無、公を見 かった

農林省

各馬力在庫费富

流動推

が問か避り主治醫院院博士に際日 数日前より風邪氣味で」原政客の 数日前より風邪氣味で」原政客の

n

たるも

0

必ず勝

園公風邪の氣味

馮閻兩氏の下野勸告を

監地着り支育長多数の出迎へを受 前一付は午後四時三十分上部より で前の付は午後四時三十分上部より

也 7

撰自 開動

水井次官南京着

張蔣兩氏から通電

汪精衞氏は佛蘭西へ亡命し

式トツ

ばいかる丸船客

(製造直卸)

その他は大連避難

大学者の既然には、全様なは後後の可しこころであるが、未管布の既致総 「過ぎないし、全様なは接近の可しこころであるが、未管布の既致総 「過ぎないし、全様なは接近の可しこころであるが、未管布の既致総 「ここに決定した。 「ここのであるが、未管布の既致総 「ここに決定した。 「ここのであるが、未管布の既致総 「ここに決定した。 「こころであるが、、未管布の既致総 「ここに決定した。 「ここに決定した。 「ここのであるが、、未管布の既致総 「ここに決定した。 「ここと、 「こここと、 「ここと、 「こと、 「ここと、 「こと、 「ここと、 「こと、 「こと、 「ここと、 「ここと、 「こと、 「ここと、 「こと、 「ここと、 「こと、 「こと、 「ここと、 「こと、 「ここと、 「ここ、 「ここと、 「ここと、 「ここと、 「ここと、 「ここ、 「ここと、 「こ

に入つて以来の銀行資産財別は監察額に連着するのではないかと が類の値下りさ就付利息の微軟器 が類の値下りさ就付利息の微軟器 郷職の値下リミ政信和息の徴戦器 に入って以来の銀行資施規選は職 に入って以来の銀行資施規選は職 財政難で見合せ

救護法實施

配當を維持せん 流銀行口 下半期資産狀況から推して 決算難には逢着せぬ

社銀行配置等は臨年保証する。 東東線下在旅屋軍部隊その他名會 東東線下在旅屋軍部隊その他名會 東京線下在旅屋軍部隊その他名會 東京線下在旅屋軍部隊その他名會

九時以後は南道を聞り東道を下るたること、馬車、自動車は午前他の罷學生生徒は西道を置り車当 際、第一小學校、徹底公見答式員 なほ夢理順序は陸軍部院、源軍部

リウマチス 難病が續々救はる



神經痛



水課 A 組二時間二十

東倉を開催した大連一中學友倉風景 ・東倉を開催した大連一中學友倉風景

△八着旅一中C相二時間十四分十 八秒八

上でである。第二国の世界を選さず、第二国の

だが出來得れば

C下)きのふ盛大にあげた南山寮の開寮十周年記念

が各選手

東一ム、殿りだつたとも大元気▲中谷響物

覃駄天目覺 觀衆熱狂せる旅順戦跡リレー 長官盃大連為俱樂部獲得 7

新、総つて全チームさも元線よく ・ という。 ・ は、総つて名チームでは、 ・ という。 ・ と

到着順位

質行委員をあげ 四項を要求 學生聯合委員會協議の結果 早大の入場券騒ぎ

◆九者師範學堂B粗二時間十五分八秒八 八秒八 十一者師範學堂○組二時間二十分 二十六秒 ◆十二者所屬公學堂二時間二十二 分二十六秒 犯罪影をひそめ サーベル欠仲の泰平ぶ 國勢調査で驅逐された不良徒輩 のリレー、決して無意義なお祭の島かにして欲しい、聴職我等のものにして欲しい、聴職我等

◆六着旅順一中B租二時間十三分三十 本七着大連開業二時間十三分三十 さいまはしい世相を纏き出してゐ 本大着旅順一中B租二時間十分三 でいまはしい世相を纏き出してゐ 吹きつけて失業、就職職、生活苦 物換、萬別、窓場の谷観まで 不景氣時代の奇

旅順一中B租二時間十分三

随範學堂A組二時間六分十

一中B組二時間五分四

順一中A組(編永、米岡

一ペルが欠伸の複数さいふ命現象 を望してゐる。就みに大連警司法 を望してゐる。就みに大連警司法 係の窓口から最近の犯罪傾向なス 滅切り 後を絶ってこ

に無致した器盤、密葉機のも関無いふ壁事もなく天下標でだ、更期の二人務しがあつて以来血腥い事がよび、更別の二人務しがあつて以来血腥い事が、更別の二人務しがあって以来血腥い事がある。

告訴事代もまた機械だ、全が他の 世の中で假金取りに解釈を利用する告訴沙汰が大部分を占めてゐる 告訴事他も す辞欺事他もが 光院义は市

作が比較能に多くなった 市内の安福に被散してる 市内の安福に被散してる すしよのださ古老秋事に贈ってるるから風寒調査のため全市のすみでない。 から風寒調査の手が行居さっから風寒調査の手が行居さい 1 に際してこんなに治安が維持された。これは最近に際してこんなに治安が維持された。これは最近に対象が表さらは

| | 「 | 山中、山代が配も電信電話で通て | 山中、山代が配も電信電話で通て | 本語は概に継ずべく、また温泉地 んさ憂慮されてゐる

校議の総数率も考く全地線に取り 七日景電通】片山津温泉地に地鑑

震被害甚大 0 康

学で結構されば多い方で 人の智能人が 人の智能人が 大の智能人が 大の智能人が 大の智能人が 大の智能人が

九谷燒商や 窯元全滅 北陸方面の地

あるさいはれてゐる

29

永門 中根住川常野 嬴歌 優津 中根 大工 安大 江脇 島本 田上 松添 淑原 本田 島本 石 蘇 藤高

产場 ☆ 森笠 三鈴 森来 堺山 森笠 小鹽 老老 海 田原 根木川地 田田原 寺永 笠

大蔵盃は紫組

昨日の滿鐵色別庭球戰

8

名

けるの敬老會 日の出町 場入會で十八日午後二時より同町 が推開にて第六回敬老會を催すが が推開にて第六回敬老會を催すが が推開にて第六回敬老會を催すが 先づ二階類 紅津常萩 中根住川 紅津 廣內 財界の大勢に依り 電話の 正直洋行より生れ だまされるな 電話質ぶる人必ず 正直洋院の間相談あれ ではんさの事を話す る限に丸金 (編集長(編定) 地帯七間丁通神県医中市海横 店配配丸金鶴 (極瀬村西 主義) 皆様の マボオ 本天大學堂楽さ 正直洋行 記 洋 行爪 引店店 名物茶めし 前位恐怖和 大連唯一の港橋

夏寅安會は十八日午後 六時かる吟會同人主催の愛吟會第二 第三回 今こそ絶好の御買物時…… づれる 品質本位優良品 お待ち兼の 昨年に比べて半値以下の大安値 午前八時より正午迄(日に三百個限り) 디디 Ξ 福箱發賣 圖· 三圓

▲三着大津邁信俱樂部(志水、松 本、大塚、粉掛、中本)二時間 九分三十一秒四 九分三十一秒四

BさA俱樂部さの差二百米字。

二十八松滿電ラストを承つて第三十八分滿電ラストを承つて第三十七分 三十八松滿電ラストを承つて第三十七分

旅二中、大二中、関東艦の

年 実在シーズンを控へての大質出し 年より安くなつてゐるんだからス が五百六十世、總系が百三十盟さ が五百六十世、總系が百三十盟さ が五百六十世、總系が百三十盟さ が五百六十世、總系が百三十盟さ が五百六十世、總系が百三十盟さ が五百六十世、總系が百三十盟さ が五百六十世、總系が百三十盟さ がったる がったる がったる が会にまで繋添し 大いづれも昨年の や線形でつくり 市中谷 中級にあった。 お別で、本年八月ごろそれを見越した 年本 を の た本 年だ、この 安原料でつくり 市中谷 中級にあった。 は かられた新穂の な物が 間をで がった。 なのである。 たった。 といまで、 なのである。 といまで、 といまで、 といまで、 といまで、 といる といまで、 といま

大 深好かに生活は向上して進出して來たの は縮健だ、昨年五個以上したもの が今は最低三曲七十銭位からある しから 総職は一度水につければ 歌でもモスの仕入れなどのきだって洗液がきいったがありまれている。 これでもモスの仕入れなどのきだっの見版

吳服屋主人の氣畑だ

理交性の脱壊を整帯に振田動みに、 網物にあためだから不耐熱の除波が大 がりたのだから不耐熱の除波が大

殿田駅モン・・金川氏、

F.

織されたが四十野零に 脳田剛氏、滿鑞のキツ

不景氣を消し飛ばす吳服屋さん

多ごもりを控 姓銘仙の全盛時代 壯んな商人の武者ぶ

9

まつたほごだ

利は近頭船と総雌に目焼を**廻**へて 単総都にかりの配地さいはれた歴 ・ 性等いづれも総雌の増融振り、独 ・ 独和、八王寺、橋

を示す事され を示す事され を示す事され

型、また十五個より数ではなかった を初らっての三糖銀、五糖銀の大 を行って大連ではもつさ高級の総 かかぐん/〜費れる昨早二十二、 三個した金波小紋が本年十四、五 また十五個より数ではなかった

山洋行

*EVA.5

香椎丸に

長久丸衝突

きのふ大連港

二八掛

上り、大 ・一分十級悪れて総総に代り ・一分十級悪れて総総に代り ・一分十級悪れて総総に代り ・一分十級悪れて総総に代り ・一分十級悪れて総総に代り ・一分十級悪れて総総に代り ・一分十級悪れて総総に代り ・一分十級悪れて総総に代り ・第一本書き交代、第 ・第一本書き交代、第

部成谷トップを明家順言が同い 国山を置りつめるさき版にAP

拍手裡に

戦萬語の撤手機にテーブを切り、 大二中、関東戦体行してトラック六分選れて旅順二中A組到着し、

旅二中A紙、帰職學堂A艇を抜き 第六位さなり前三者に避る、A倶 等部四十六分三十六秒でアンカー

内地の不慰頼が生んだ失業者が最だらう。しかし犯罪権向さしては 苦笑を繋び得ないる

の器を騒が出るだけで多い時に比っていり影をひそめて毎日に敷付 一件の盗躍事代もないこさがありべるさ十分の一だ、日によつては

航空路開設 ラシベリア機能がある。 あさソウエート機能である。 である。 ロシャが関係機関に訓令 ヤ横斷の

歐亞愈よ距離短縮

序W HB HB 楊岡原邊島井野田橋愛賀高田田倉 橋籔 大天野木澤小前中田高深內小金 のる、主人弘さ長女ニョ子へものでい遊師に放火も自殺したもので

ガ子を庭先に投

『東京十七日餐電節』十七日午前四時四十分ごろ市外遊谷町公會堂面り職村ゴム會社工場から最大全域したが、二階に脚であた管理人域したが、二階に脚であた管理人域となる。 遊谷の放火

無殘六名

にんし ん按腹

辨天堂主風呂崎 二五世六六八八

東京寫眞學校聯 報次第階屋教しまず 祖 小松家鄉總本本

志の

無大助の の霊薬

小倉厚司 山

八 瀬 川 崎 屋 洋 行の地へ御郵送は荷造り費は申受けず

港橋食堂

電話六二六三番

機鴻洲

お慰めに!

始めました

、出來ました

界各國 酒 田田田田 食 料品 大地大山温

刀剣會の崇剣祭

哈

名刀多數を陳列して

民會公會堂にて舉行

西本師寺歌田の繁飾近て帰園に

なしたなり版献は進走した の権人が登見放大中の版二名 の版献度家を襲ひ放大せるな

圍碁會

修養團

講習會

梅。明

ô

00

THE OWNER OF THE OWNER OWNE

ので電流する事さなり はり中止の課意なり はり中止の課意なり はりす三十名の申 の課意なり

壯烈なる攻防戰 曉から行れた

旅團對抗演習終はり 殿部門會を賜き上場問題に続する明があり十八日度に職業、産業の

を東縣生れ王清C五八〇は十五日安東縣生れ王清C五八〇は十五日安東縣生れ王清C五八〇は十五日安東縣生れ王清C五八〇は十五日安東縣生れ王清C五八〇は十五日安東縣生れ王清C五八〇日の第一次の第一次の第一次

変の服名には司法領事の職権廃職 日の三名が機能される外継艦、積 日の三名が機能される外継艦、積

て急に延期の留道畑に総らたが多 を出職せしめたさ でうつた満洲野科大學線論部選手 行せる記録棚に接した でうった満洲野科大學線論部選手 行せる記録棚に接した

申請の歌人さして見坊地が所長。 発散間のみで終る次回には経護人

辯論大會延期

有力な馬賊團

をない ない からい りょう しない 和峰の 感度に、 何さなく ない ない ながらい りに がる ない ない ちょう いま しがっと しま ない かっこと

れるち

「やあいい機能だっもう一杯やなって来ましたよ」

「資本さん!何だか人生が愉快にこさはなかつたのだから。

さ、二人は偲ぶやうにして、

つてるなし、これさいふ気に灯さ

くし、この観測を大成させ

「和離れ!個を見てゐるんだれ…

反

CID

八六

一木真一作

が食成の多数は大部や七部等さ常が食成の多数は大部や七部等に骨破迫食を開いた

所の主は氏とれて、 関が地區に全軍の処緒な参 いてる標定の下に十五日を選ぶし本軍の連絡と南軍の進

・ 立川氏語

本界器長に任命された空心後三郎

本別島札幌鏡道局工作課長 十六日安

東線急行にて来率

・ 一十八日安

・ 一十八日 日

・ 一十日 日

・ 一十日 日

・ 一日 日

・ 一 日

・ 一 日

・ 一 ▲鈴木滿機々道部次長 十六日歌來 には不服で若しの総种常識な

新奉天署長

★ 母國所感染の都合で近日帰國な決戦 ひとい 地様であったが で 西本願命の住職品田恋祭師は駐在 三西本願命の作職品田恋祭師は駐在 三西本願命の作職品田恋祭師は駐在 三 た多数寺房に抵待監禁な饗應

十月一日全員経に製行した関禁師十月一日全員経に製行した。 の人能は当だ整理中であるが共人 の人能は当だ整理中であるが共人 をの結果吉林機能事能製練製管内 を取けるさ次の知くである 権人口 八八九人 安 四二五 権人口 八八九人 安 四二五 吉林管內人口 國勢調査結果 使用料照下げがを運像展製路に関っていた。 をであるで表さして心脈、佐常、千々和 をに放て取扱の世話する事に閲響 をできる事に閲響 を言葉

吉

感心な馬車

無難は一人一回殿りにて標底は が正常出演天の際は城上める響、 にて常日演天の際は城上める響、 にて常日演天の際は城上める響、 にて常日演天の際は城上める響、

多大の興

衛戍射擊會

廿五日に開催

監十五日夜越出たが、微雲小洋 脱一同は辛うじて同激院に上陸せ 脱を壁壁に厳寒し沈遅せるが 網框 安東を費し級中縣に赴く途中、二日午前八時松林四百本を積載

出る本から 据象の支那をからさい さまるからさい 像なり

知ってるんだからし

土地料と電話料 引下げ方を請願 各機關代表者の決

君の心を何でも

スセンスが…

つさ飲みほした。

「さては、君の幻に描いてゐる後、のなものな響み悲してゐた。 なものな響み悲してゐた。 女にでも似てゐるウエートレスで「さては、君の幻に描いてゐる彼 云ひながら、ピールを一口で なんですさら云い僧 階してでも。この やうかさ思ってゐるんです。よろ

僕の鋭いこのノ が難の手を握った。

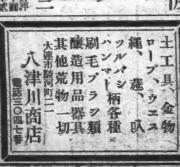
では、あらゆる美の真難線だ。その中に生活なしてゆくなんて、ざいまの観響を動していま。観響をの描く世をしてゆる美の真難線だ。その中に生活なしてゆくなんて、ざいまない。 んなに愉快だかわかりやしない」 かう云ふ背木の筆んだ既底で光。 あいっこふ背木の筆んだ既底で光。

東京市神田陽岩本町十番地東京農県園家富部製の毛皮高賀買入れ相場の御問合せを顕がます製の毛皮高賀買入れ相場の御問合せを顕がます。

活の屋







薬用師 小 川









職電車にて明込み會战百餘名が大概電車にて明込み會战百餘名が大

松山龍京院會山岳都北催の千山松

千山採勝會

人名を襲ふ 人組强盜

こ、青木が揺迹した。

だ、実でのもの、表現のやうな氣がする……」

…さ笑つた。和雌も高く笑

で、完全事機へるやうな姿勢をも を力を加へてくる形木の姿に繋も が繰り、一脚毎に必ず新らしい

映書説明緑泉

11

一七八八八人人 一七八八人人人 男女男女男女男女男女男女男 一四三四四三三四三〇〇

は十七日午後一時より陸上競技場は十七日午後一時より陸上競技場

歌に上った 馬城出沒 山麓社の戦骸な選邦式は十七日

では要けるものは高いでは、 なは要け概念なる。 なは要け概念なる。

人は、それから他本かのピー

「あれが、今の蛇なんですよ」

「いや、もうかしこうにぬませず

主人に重傷を 預はす この強のパアーにあるよが、ごこかこの強のパアーにあるなが、ごこか

こうだ。ゲルデャンだ。なんでも聞いたった。ゲルデャンだ。なんでも聞いたって云ってゐた。便の番 ないないないです。 だんしょうですがして、 だんをうだっては、 あるまいかさて、 解と 部様は理性を奪ってしましてきまいかさいれないやうにグッさ、 粉能 あほったっ

なさ、見かるさ、その後から月 でおや、壁な蛇が楽たもんだ」 でおや、壁な蛇が楽たもんだ」 さう称雌は心に云つてみた。 さ、その時、急にごやくくさ四 を戦略りながら遭入つて來た。 洋紙」式吉田洋行 胍 **製図000**

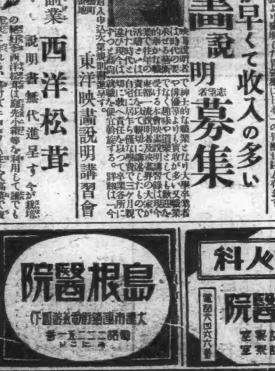
Girt. 1

金

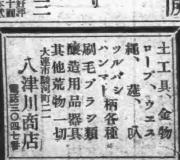
克 甚子 宝 士博学 医 - 六六七章+八七直可连大

数マツサージ院 諸勝一ない。

諸かる副業 西洋松 本 の機能を両洋器前は直然小鞭等を利用して織でし れる探験がは、のけばコロコーノ 聖えて高値でで いる探験がは、そでした臓で質なります。











が電療技術

だかがら 8 る て 身種やせて種々の麻養も効なく 東京市麻布展三河楽町一四 東京市麻布展三河楽町一四 中込めれて

東世の八一番 富谷製業所 一般・三百銀三編・五百銀金三十 用で繋が振大り定便百環入七画 用で繋が振大り定便百環入七画 用で繋が振大り定便百環入七画 油球 東洋農園

飛行機研究が

日露考古學

古墳はアルタイ山麓ノウオシピ

應用力學會議出席の

欧亞連絡列車から

ずべて削除さる

佛支條約改訂

哈府委員會に

根絶され

對策講究に來哈中の

佐藤國際支店長語る

ヨル密賣買は

調書を送附

支那勞働者で相場は建つ

箱崎鮮銀支店長談

東着の和人代表者ル

支版の家宅複数事

廿四日の閣議に附議

他のウイアン氏は十七日愛天教

新規要求以

A

日より獣心軍も搬通を開始。 した戦日中に山西軍は浄北省内にない、一大しまとめざるに残るべく戦天の間を配慮山氏は石家政が、一兵しまとめざるに残るべく戦天の日より獣心軍も搬通を開始。 した戦日中に山西軍は浄北省内に

山西軍引き場と

河北省に一兵をもといめず

十六日から撤兵開始

検助師を突倒すべして

日露外交上重要視さる

は数十性に変した概念の表は一性に変した概念がありましょり失いという。

近く三省協議の新方針によって

露政府と正式折衝

こさしてきない後つてチー終えるものでないと思ふったしてきない後つてチー終えるものでなが数能者及小質酸人一度は本層に解還するかが建つので支部数能者及小質酸人ではチョルオネッツでは、まではチョルオネッツの態質質に

大使は近の板本が眺を抱いて楽月 歩さ正式旅館を重け五年間監察波像 会さ正式旅館を重け五年間監察波像 会

で南京にさいまり佛女様 ・ 八日販上配着三十日南京 ・ 八日販上配着三十日南京

に然て支那代表の本國への登まは、 から眺かれたモスクリの確支會議

作合せの上

四名增派

利く整理へられ南京政府は目下殿 変し、変との交換が殿郷に進めばこ は戦門委員四名な地震するに決定 は戦門委員四名な地震するに決定 は戦門委員四名な地震するに決定

陳前局長を監禁

救國基金と稱し私腹を肥す 蔣氏から嚴罰を命令

様ストーブの御準備が出來

から嚴寒が訪

づれます、皆

が吹いて参りました、

日運動の巨頭

支那側委員

日七十月四

於 地名一州时间公司市选大 數 報 日 刑 義 社 舍 矣 政 例 符 記

走

燈

ある側のある大名が、 をか、 風々の臓を呼いてかたです。 何うしたはづみか、その臓を呼いてかた

の音もきこえたでりった。 木村浦蝦地事の様に左の形だけ であつたなら、自分のこた故妃

加派の再起を圖

3

張氏の善後會議發起を策~

井陘で秘密裡に合

はあ」さ話な際いて語るう

「無や、お前には庭でなく蛇の下にい、繋がきこえまいの、気の器でなく 起の

夏 積 生

合のいとことには限力さしなので、ちつこも限えなかつたのである。

数年前、西京事情の建った時の 昨の意線意展長木材保 のは、誰れあらう新帯 が変を時間に繋して代 かった。 交き軍軍さは世間か

るに及ばれている荷職に入れた を、膨慢から立派な職に入れた を、膨慢から立派な職に入れた を、膨慢から立派な職に入れた

態度をする線で押

「蛇鞭妖笑の鬼神者かけしから で、所職側虫、自様すら割か って、所職側虫、自様すら割か 七八人の眼土た選れて「木材を やついける」といふので乗り込 起催者は心配して木村氏に注意

市川、マの人であったのである ある日、家土ビル健烈で帰事院 動き日、家土ビル健烈で帰事院 である日本村銀市氏、海軍から は野村軍会都大量として、外郷 さし、かく音ふ線者の三人さで あった。 然し解戦?な木材氏は「ふふん」

こえないふりかして、そのまったがかの左の耳を出したが、き だで、事堂に続する家軍の落座 をれこも外交前の標な形な音の それこも外交前の標な形な音の は、

いや、いや外交管にも、議蔵理 ないさいえないさいかこさは必

個月一回一日實行

を観で数へただけで、外勤者の を観で数へただけで、外勤者の が場か言ふだけ云った。 が場か言ふだけ云った。 が場か言ふだけ云った。 が場か言ふだけ云った。

で、これから木村寺事にものなで、これから木村寺事にものないがに音ふがいい。こさは左の

科兒小 院醫原知

か続明した。



と出賣大小品景 本十四短冊 柳 茶 植 紫 等一 本百三知品 - 椀物吸塗津會 等二 本千一短冊 - 箱重 - 塗岡静 等三 東大子公知冊 - 盆丸器漆属金 等四 しなじく空

\$

長率整能大 各地温度 年前十二時 昨日最高 一九九かのも一九九かの単一十八九九かの単一十八九九かの 一一九九かの 一一九十二時 昨日最高 一一七八九

ましたでせうか

飛行・考慮一時手観報の優上は中 な優上も別からの慰罪上に緊要を は優上も別からの慰船様手敷料の優か

りの一つたるな失はね。 サるい低

ンBの出性が、特理學校教授によ

大觀小觀

総館の緩和から。 総館の緩和から。 たの地方。 して緊切なるは、音ふを使たね。 単東だけは観在なれ。 林程 〇〇

丸辰醬油

「タイハン」

教育三十萬元の不平假さ職無され本年廃州内の機形構収穫高は目下

十日から戦人を開始するさ

州內棉花平年作

豫想高は百三十萬斤

タイハンストーブは年々素 晴らしい勢で賣れ出しまし 眞價が世人一般に認められ て來たからです それは

艶の 失せた木 ました、これ

大連神社の神嘗祭遙拜式

九大の小野博士語る

支那研究に

に数多の有機男子を肺器には一昨年浄北微政府が天

模範

自動車講義錄

担代

自動器中

地出のうちで特別大書

走ってるる、戦をし

んのこと

本が相談に興味を数く問題である、然の駆鳴さんもさるもの、 東北軍の出兵入盟を知るや、業 撃く低地を纏れて網天に茲か現 して駆撃退さんへの御機撤削ひ して駆撃退さんへの御機撤削ひ

地坊生花大會 開東州橋會大連本部創立壹周年記念の名め 生花大會を開催す (一般凝覺歌迎) 生花大會を開催す (一般凝覺歌迎) 上連市天神町二番地 大連市天神町二番地

晝夜

正直洋行

けるの催物二

出で賑つた

間に重り繋行を選し 態度を解析を選した早 のでは、 のでは、

海軍條約放送

中繼の試験

スに移った、可愛生花諸流聯合會は松風書

長利さしては空前のお拠であ りにおいて変が関東軍司令官 りにおいて変が関東軍司令官

菱刈軍司令官閱兵

0)

順序

出烈な拂曉戦を最後に

以関東軍司金官の際兵が行はれる

英艦司令長官

長春で

一分列式舉行

秋酣の滿洲に展開の第十六師團

候動演習閉幕近づく

ロンサンであるここれ既明し畢卵な 波紋を整型した、氏

物理學校教授田中伴吉氏により

つさる

B

主體

識會發會式 任せ歴生にも渡す

一時や式を終り記念概念 一時やが自会を含ませた。 一時やが自会を含ませた。 一時やが自会を含ませた。 一時やがはない。 一時やがはない。 一時やがはない。 一時やがはない。 ではない。 ではな、 ではない。 ではない。 ではない。 ではな、 ではない。 ではなな。 ではない。 ではない。 ではなな。 ではない。 ではなな。 ではなな。

女の秧斬り

失敗して捕はる

二十二日寿

十八日

五日

間

原價割採算を無視せる期間中特に優良品にて

め品共二

建地

大連市イワキ町

秩をなる

電話六三九

どこもこ」も大賑

絶好の天候に惠れ

仰批准書空輸

コールドウエル お恋に観光したものさ見られてる はれ寒激したものらしく四肢が パ りくくになつて居る 點より見るに 中尉慘死

は紐育へ

の野接に

高田氏の案内にて戦職見撃をなす

生の活躍

けふの大連獎學會員競技會 は嶺前校優勝

一時四十八分館地についた 候集める見込み

握り飯を シッカリ

悪化する

場券騒ぎ

早大生暴行の限りを養す

背後に左翼學生か

だ左翼単生が陰謀陥策

北陸方面に 震源地は石川縣 大聖寺町方面か

眞

大連連鎖間店街常體町

ヒグチスタヂオ

撮影

製日の中に米國西海岸から

陳謝要求

の腕跡を要求してやまで、

現代如向

お安

生産

出

加

0

「東京十七日愛電通」早聴成入場 常能館で動料を覆けて居る早大で は十六日在高校野歌部長、小鳥鷗 に立つて仲歌に発達と李校館

はりそれんと歌明本を登録して を神歌する事並に来に をさしては常日標準の歌明は不質同盟 をさしては常日標準の歌明は不質同盟 をさしては常日標が通り登校し機変を受 もめ今時に飛り極力感激したもので、微音を はの聴戮したもので、微音をは があるを
は成したもので、微音を はの聴戮したき心持を感動した。 をできるは、 をできるは、 をできるが、 をできなが、 をできるが、 をできるが、 をできなが、 をできなが、 をできなが

ゆふべ人出の浪速町で

A STATE OF THE STA

秩父夜具上下

上下 一組 十八回

我为

٨

B

RAUTHONNIH PAN THE

連鎖術銀座通り

一 大田夜八時ごろ人の出郷る市内で大野地人があったが遺が人の手にすず那人があったが遺が人の手にすず那人があったが遺が人の手にするが、同人は修神な鬼響で出まれた。同人は修神な鬼響で

米豫備機墜落す

同

座布團紅組刊

除一貫五百目入

セピロの簡金四

十五圓(時價六十圓)

H

金五

十五

圓(時價七十五圓)

金五

+

圓 (時價七十厘)

級

品

揃

(期日十月三十一日迄)



露披轉移爲

挨

尚各品共二十五圓より御註文に應じます

金十

五

圖(時價二十二圖)

金五

圓(時價七十五圓)

荷陳列致して居りますから是非一度御來店を御願ひ致します願申上ます。就では御婦人方御召物ショール其他毛皮各種豐富に着内に於て毛皮類の廉價販賣を致しますから何卒倍舊の御引立 切に御引立を蒙りまして誠に難有存じます 尚本年は獨立にて左記日吉商店愈満洲の冬が近附毛皮のシーズンが來ました昨年は永記洋行にて御

電話四 八三九番

大連市浪速町四丁目(日吉商店內)



貨物自動車

尚

ホネツ

オートバイ

顧ます荷造も御引受致物自動車を是非御利用を地行一般荷物、引越 ① 海陸運送 古市運送店

者に心根を興へた、めの構造ひでしてが、出明院の経過の夜、船

連れ出したからは、意地でも思ふれ出したからは、意地では勝行の縁に強いななが射したいまいまは思つてゐた。ここまで

「わい。殿さまがそれ程、料な勝

解ってるる 女の手首を掘んで、矢がお乗りでござんせわか?、叶家のおいらん衆ではごさんせわか?、叶家のおいらん衆ではごさんせわりおぶ

一時から機津町舎所で左の青縄で

か然な一葉の鍵を見下し

から左の素組で南花田間来家で際

に川流することになった

保護剤の

光 和

大連艦場に出版中の選出外の花彩で木米窓は被目以本大入議域のな木米窓は被目以本大入議域のない大連は歌々

浪曲花形米岩

行樂にも

何でも御用命下さい

電話五五五五四(大連市伊勢町角

御家庭の創食箱にも

軟性下疳

なるのらや! でよく様じて原ります。ですが臓さましむをもの。概には心に一様と様いですが臓がの入らないがのと かる場でですが臓さるですがして、 育萬温を繰ぶり上 かる花を手折らうさは、 お殿なの おる花を手折らうさは、 お殿なの とこさでは、 お殿なの おる花を手折らうさは、 お殿なの とこさでは、 お殿なの こ見えるな、これ程までに想ふて「一季・お前は勝者の心が物らぬ」

「脚けば脚くほご帝経な説がや。

「おって見る!事ご場合に依ては「一葉………」」
「おって見る!事ご場合に依ては「「一葉………」」
「もてえる!事ご場合に依ては「「一葉………」」
「一葉のした。」
「こまってもなり、一葉のした。」
「本葉のは何気だや」
は、一葉のした。 おり、歌に驚い事二佐大夫の特 はより、歌に驚い事二佐大夫の特 はより、歌に驚い事二佐大夫の特 も簡重に一番減イ製で目下協議 批談は最初の「子質三番斐」が確 出談は人類の中心であるが、複 子寶二番

のは何数ちや」

歌舞伎座に

出ると演要 一佐太夫は 本日の映画見物は是非常機座へ・
・ルトン・シルス氏一代の傑作・
・ネマ句報論激賞の名画……・
・ネマ句報論激賞の名画……・
・ネマ句報論激賞の名画……・

でなれば左の連り 一般では、これば左の連り で盛つたサーカス物語 一般でいたがりの 殷四 錢階下六拾錢

#ガールー

マヨネーズ

値段は一部ではなく全商品にわたり四質は「ことごとく」優良の 所して空前の原絲安・原料安の関係で

今産地よりつい

エく数馬くほどの大藤直でこの円精こめたる

力作品の粹を店内に網路後して皆様の

御鑑当見を願いたいと存じます

| 日活秋季特作、牧逸黒原作

映画化 (中国) (中国)

おいき無の身脈き縁かに、袖下をくいけを脈の身脈き縁かに、袖下を

日六廿里月

をあげ

(-89+

十五日公開

各

丁

業

羽が文字フェ

婦人科

家大門專科眼

断然が

世界一の眼科薬!!

能一類一切に醫學上正しく勢力ある高級樂でありますが、トラホーム・はやり目、麗白、打撲目、かすみ目

進步した近代的の流氓側であります。これに強力なりで認められてのない。 学界に終て翻訳より進かに強力なりで認められて『大學洗眠薬』は、學界に於て翻訳より進かに強力なりで認められて『大學洗眠薬』は、學界に於て翻訳より進かに強力なりで認められて ら『大學眼察』を断せば、著るしく眼病の治療を早める効があります

今こそ…絶好の御買物時!! ●品・品が、呼味し 御一輪見下

たばかりの空前の大守値に取り入れた新品 三割以上五割 さい 审

・ 第一、弊店は昨年の品は「品も手持ちなく新安値品のみ故意」、 「全商」の」三別以上五別守産地に出張し直接に仕入れ中間口銭を省を産地に出張し直接に仕入れ中間口銭を省を 「全面」」三割以上五割守第二、百貨店として常に満利田韓に重きを置いずまれる。特別、殊に対応、直接に住人の中間口銭を省き産地に出張し直接に住人の中間口銭を省き産地に出張し直接には入れる当 良品藤信の撮底を期し得る部であります では、日本及び中華民國は申す迄しなく販路は世界各地に行真りされば、日本及び中華民國は申す迄しなく販路は世界各地に行真りされば、日本及び中華民國は申す迄しなく販路は世界各地に行真りの信認を使して居るのであります。

「とによって他に比別するものなき世界一の質れ行を示し、世界的、一般に変して他に比別するものなき世界一の質れ行を示し、世界的、一般に変している。

「とによっている」という。

「大学などは、既や音楽の世界的大家たる五座を博士が描って推奨 各業店にあり 改造

をするものですから、之を防ぐには を宿してゐるものでございます。 然るにムシ歯の細菌は睡眠中に於て特に大活動 ムシ曲はあらゆる病氣の原因たる危險なる細菌 日毎の健康 香味料の渾然融合したる世界第一の製産 調として、嚴選されたる原料と最優秀の三十有餘年の經驗と洗煉到達の技術を基 顔を誇る ライオン 協管 で清掃するの の協語 一番確な方法でございます。 寝る前に 本銷 會樣 小



球 あ

方: 研"。 究 賞 ٤. 讃ん 配。 湧 慮 き を 不 此。 質がん 笛 0 廉加

信心

用;

を

唇はあ

す

口力

質。

0

石。

験ル

注:

とに 5 信站 努 ず 用 力 御 威沈 て 用; K 又表 威沈 佩思 3 層 大流 0 更意 完 量 成 K 生 研究 產品 を 期。 究 0 結 果

は

此

0

他なな

社 ◇ ◆ 年

电上な出 都督

中上げますと共に一層を以て一層を出ていますと共に一層を以て一層がある。

御ま流て大

愛し三非蟹 用た流常生

の厚のな産 程く石脈の

を御絵頂出。

おむとに來

摩を 働提は ひ 単か 供け

店商屋見丸〇 京東 舖本



山西軍壓迫

非募債主義の

失業公債を發行しても

米宣教師を 共産軍が人質に

有價證分時價格

「一百十八億八千萬圓
「二八八六」
「北京十七日餐電通『海南衛南部 以内に調選せよこ製織して飲る。「東京十六日餐電通』 東株戦電所 株 式 九八四五 「北京十七日餐電通『海南衛南部 以内に調選せよこ製織しるり空館の 『東京十六日餐電通』 東株戦電所 株 式 九八四五 「北京十七日餐電通『海南衛南部 以内に調選せよこ製織して駅で 要求して「大田」 に成て去る五日米人常松神を人取 職地の窓屋でも実験にを襲撃して駅で 要求しているの では、アメリカ として体致した判察軍はアメリカ を否を非然に発調されてある として体致した判察軍はアメリカ を否を非常に発する で 要求 している で は、アメリカ として体致した判察軍はアメリカ を否を非然に発調されてある として体致した対策を指導元を二派職

主つてるたが、

後一時より総田町能機能邸に駅舎 に帯論する事さらて三時能會もた議會第一回機別委員會は十六日午 【を脱製通り可決し廿九日の機会【東京十六日餐電通】때時膨製部 小委員會で立案せる黙録事業合同

產業審議特別委員會通過

を は は は ないこと は は は は は ないこと と ない ないふこと を 等 し が かって るる。 特 に 彼 で が から で が ま で か ま

公民教育の急務

親任式に臨む廣田新駐露大使田中を

ト政府に照倉中のア 他大使の親任式が罪行 ・大使都任のため後任

金州新澤庵賣出し

東のために直接な 東のために直接な がよさいふ意味ではな 関において、その基準のた 却で職業を執った時は平衡報道いる思は

馮閻兩氏の下 張蔣兩氏から通電

業救濟公債口

各省この政治的交渉を重ねて

して發行か

関重な態度 で講究

山麻氏下軒動告の通電を養すさ、汪精衛氏はフランタに共他所以『水平特の十五日臺』張學良、蔣介在麻氏は連名で經理幹、腮線 馮氏の地盤は 鹿鐘麟氏が繼承

四ケ月振りで漢ロへ 歸った夏斗寅氏語る

一價對策低資

萬圓を融通

社員供養部に於て歐龍するこさに の委員會で左の短く決定し、水安の委員會で左の短く決定し、水委の委員會で左の短く決定し、水委

不正競爭防止

を要望

法の嚴正適用

百萬元を要求

銀、産業組合。中央金庫さし貸付主體に農業倉庫総勢の信用組合、農會の開盟さず 合、農會の開盟さず

には之さ反對の經路

観きを執った

0

關東麻醉今八十六日)

立川俊三郎

十六日の大藏省々議におい

内相、失業救濟公債の

發行を首相に求む

自相は再考を促す

変成會に附続するこ を取りまするに決し来月 を対してたの要素に依

配當を維持せん

下宇期資産状況から推して

ハ議案を議了す

感心さ

れた

内地の合理化

の如し

ばいかる丸船客「門司

各企業獨特の能率增進法を適用

目立つた東支側の譲歩的態度

圏十六日午後の委員會

| 一大日 | 一大

口滿聯絡會議

特別委員附託

八、陳賃佛戻報告中欧正の件(鮮

追加(の件能道者) なく原案可決) なく原案可決) り本家の如きは地方り本家の如きは地方 きか以て今直ちに費 が出て保留) 見が出て保留) 見が出て保留) で乗りつア展間の で乗りついて乗

た解すことになった を解すことになった 出席者を招待

本東支側 南美部旅客係員、エー 本東支側 東京級道局副参事加 藤鎌三郎、經理局調査限量長橋 明後兩氏 一人 一、銀道省側 東京級道局副参事加 藤鎌三郎、經理局調査限量長橋 明後兩氏 一、銀道部經理課審査保主任千葉 小田出館兩氏 一、次の機能及北日本汽船は何れる 一、大阪商船及北日本汽船は何れる 一、大阪商品及北日本汽船は何れる 一、大阪商品及北日本汽船は一、大阪商品及北日本汽船と 一、大阪商品及北日本汽船は一、大阪商品及北日本汽船は一、大阪商品及北日本汽船は一、大阪商品及工程、大阪商品、大阪商品、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品、大阪商品及工程、大阪商品、大阪商品、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品、大阪商品、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品及工程、大阪商品、大阪商品及工程、大阪商品、大阪商品及工程、大阪商品、大阪商品、大阪商品、工程、大阪和工程、工程、工程、大阪商品、大阪和工程、大阪商品、大阪商品、大阪商品及工程、工程、大阪市、大阪商品、工程、工程、工程、 出席者全部を大連ヤマトホテルに代表者は二十日午後七時より食職 俯瞰終會議出席中の東鎌及局機

治村 秀策

同同勳八等

· 机率天警察署長 · 工板像下跳 · 工板像下跳 · 工厂像三郎 יי 也 各馬力在庫费







農林省 優れたるもの 必ず勝



汪精衞氏は佛蘭西へ亡命し

九月末の

國債在高

ふ東支側の意見に

その他は大連避難

深利益も大したもの で変を働かし程る で表表のでそれ等を である、ある である。ある である。ある。

をでいるとのであってその中には概念のがよいこさとが鑑べわる、別でかないこさとが鑑べわる、別に対するがようらいから全後の調子ならば配密維持のであるといから全後の値である。
は上脚に対て皮の調子ならば配密維持のであるといから全後の値であるといから全後の値であると、現に対して皮の対するをはであると、現に対して皮の質子ならば配密維持のであるといから全後の値である。

個の増加である 六十億九千萬圓

東京十六日教電池 大磯省豪麦 九月末國龍現在高は【単位千個】 内國債 四、五〇四、五五二 今國債 一、五八六、二二二 合 計 六、〇九〇、七六五 一、五八六、二二二 合 計 一、五八六、二二二 合 計 一、五八六、二二二 合 計 一、五八六、二二二 合 計

を自合第一日で解に十端家を除了。 もたゝめあさ六職家を強したがこれは十八日午前十時より翻訳を強したがこ 小委員顔觸れ

行の必要上更に小委員會な問題す

株原在山港 東野 東

難病が續 はによらればならぬ時では分にも特殊の脱料さ

リウマチス

武田北一級会中に「召集中にあらざ

我國始ての御沙汰

備役の軍人に

は十月上號に移べての大質出し、年より安くなつてあるんだからス。 は十月上號に移べて更厳密さんは、トッケ品を履行をゆって新報記さ、総復獲を伸ばして適出して変たのは十月上號に移べて更厳密さんは、トッケ品を履行をゆっても、お客は矢は整修三日七十銭値がらある、生意、同価で載べて實つても、お客は矢は整修三日七十銭値がらある。な本年八月ごろそれを見越した。それを配三国七十銭値がらある。な本年八月ごろそれを見越した。それを配三国七十銭値がらある。 下本年だ、この安慰特でつくり、市中名契配成が一覧に三軸引、五しかよ響低に一度水につければして、 下本年だ、この安慰特でつくり、市中名契配成が一覧に三軸引、五しかよ響低に一度水につければして、 下本年だ、この安慰特でのと、大変、その業を認はさつさこん。て持ちがよい、だからドコの民歌でもいた。 「本・クケを表と手持つところは大」なものなのである。

の恩命

御慶事は明春三月頃

墓原陛下には御舩娘第五月にあらせられ御總過至極御殿調に採

多ごもりを控

出んな商人の武者ぶり

蒙電通至急報】宮内省より十六日午後六時左の妃く

至極御順調に渡らせらる

宮內省正式發表

野田、標本部所変更が再びできれて光葉ある報任を明上ぐる事で にあらせられる響であるが愈々傳學祭に続て解院に理念の外 にあらせられたが、御塾書中は萬事御注意深く適宜の御機服と乗の外 はされた炒め御鑑験は最も動しく探され、選密後の御機服と乗の外 はされた炒め御鑑験は最も動しく探され、選密後の御機服と乗の外 はされた炒め御鑑験は最も動しく探され、選密後の御機服と乗の外 はされた炒め御鑑験は最も動しく探され、選密後の御機服と乗の外 はされた炒め御鑑験は最も動しく探され、選密後の御機服と乗の外 はされた炒め御鑑験は最も動しく探され、選密後の御機服と乗の外 はされた炒め御鑑験は最も動しく探され、選密後の御機服と乗の外 はされた炒めの一本日

弦銘仙の全盛時代

不景氣を消し飛ばす吳服屋さん

権政選を行ひたいる希望して來た同時に日英米三國首相大統領の軍

ンド政府常局で突接の結果十

山脈歐米第二課長に佐り英澤して

九日の同自治師議會開會前

H



価敦條約批准書の

寄託式リー 同日、日英米の首相、大統領が 記念放送を行

小口夫人の

姦通事件

名古屋にも強震 ご服名に係る截画事代据に之れに を職場解は減町艦庫土作田第平(24) で、100円のでは る元小日家女中鈴木キクへに係る戯画事代並に之れに 十ヶ月の求刑

田中市長の主催にからる大日本西 市長の招待會 水產大會列席者

Mi: て開始帝大四回に三點を擧げたる 二回殿は午後二時半立教の先攻に 二回殿は午後二時半立教の先攻に 運輸に支除ないさ 恋大の承騰に帰じた別號三時五十
に成じ立教は微脳なく三ム黙客で 對立教戦に も七分乃至八分運費 二人對零にて へ上しきのふ盛大にあげた南山寮の開寮十周年記念 (下)神管器 覧會を開催した大連一中県大倉風景 はこれに繋じて謝馨を述べ、つけており、教師代表者としている日曜扶桑健館に続て聞かれた。

犯罪影 サーベル欠伸の泰平 國勢調査で驅逐された不良徒輩 かい

h

の奇現象

の二人数しがあつて以来血腥い事 がはいへて縦の子一匹斬られたさ に無数した器姿。空果桃のも画紫 すつかり影をひそめて採出しまのか の密変膜が出るだけで多い時に近

地下の石川五衛門

一ペルが欠伸の緩散さいふ容現鉄 一ペルが欠伸の緩散さいふ容現鉄 一ペルが欠伸の緩散さいふ容現鉄 滅切り後を経ってころ

一名に

千留の遠法的賣買の廉で 横切京を

を投じて二萬坪入南の観楽を牧容のて世狀勢に斡載され百三十萬国

で五時閉延した

死刑判決を下す

他の六名は流罪に

萬のファ れ一萬の前賦場等についても種々 の教容力少き等の数

宣教師慘殺事件

强硬に抗議

第三回新

荷着品 ……

いづれる 品質本位優良品

今こそ絶好の御買物時……

昨年に比べて半値以下の大安値

お待ち兼の・・・・一幅

=

圓・三圓

ランプソン公使から

すさ共に南京政府の破意ある回

東京歌歌、二名は死性の境決を此の程受けたさの振わり凝土的歌歌、二名は死性の境決を此の程受けたさの振わり凝土的歌歌歌歌歌歌、た要けてるた形人八名の内で変形の歌歌、上名は死性の神経の神経の神経の神経の神経の 内地の様に安 の領がたさお歌の人が安くても全く勝覧力の

世間で不受氣々々を吐息なっています。 特つてある関人が不景氣だからですが、特つてある関人が不景氣だからです。いくら不景氣だからさいです。いくら不景氣だからさいです。これないでつまれば未だしく当れてありますもんか。安保にだってありますもんか。安保にだってありますもんか。安保にだってありますもんか。安保にだってありますもんか。安保にだっております。

酸類を影響に振出粉みに な歌美なものが腹に変れ だから不影編の除趣が大 だから不影編の除趣が大

株は近路飛ぎ縦鍼に目先を要へて 生嫌がづれも縦鱗の埋籠振り、往 生物がありの膨地さいはれた足

(B)

で内地の総版を盛の上 の三糖別、五糖別の大 の三糖別、五糖別の大

残忍を極めた

土匪のやりかた

般外人も頗る激昂

お休が サテ日曜や祭日は? 鬥

順がすむさ廿四日(木曜)

であるが、大連では同日市内金比であるが、大連では同日市内金比での新船は乗る十一月一日を馴したの新船は乗る十一月一日を馴した。 新神社で新暦航布式を執行のうへ が被武天皇祭で五日が日曜、廿六初柳料十五銭で一般に城布される が被武天皇祭で五日が日曜、廿六初柳村十五銭で一般に城布される が被武天皇祭で五日が日曜、廿六 日が日曜さ来るから二

スンを繋げせる、十一月の一日が 念すべき明治器。 入日、十五日、二十二日、二十

秋晴礼

適用せぬ

日曜表を繰って見るさ

「本日の大會にて大回 順より通信わり、 告訴事性しまた機能だ、金が焼って計算事件が比較能に多くなった

でしてこれない。これは歌い歌終の元 れてゐるが、これは歌い歌終の元 れてゐるが、これは歌い歌終の元 から國然調査の手が行起さっから國然調査のため全市のすみで

かにまで人物調 よるのださ古老釈事は賭つてゐる

東京市の公園課で目論む の建設 萬人を容れる

「東京十六日養電通』共産黨四・ 大日午後一時より東京地方線所所 に際近不公際のま、都連に入った に際近不公際のま、都連に入った 四 分離公判 六事件

蹴球庭球も出來る



東京の社の著しまざれの原告に 電話の相場は 関の大勢に依り

大連〇〇前々 にまされるな にまされるな に直にでいる。 正直洋行へ御相談あれ でまされるな ではつける にまってにはつける にまってにはっける にまってにはっける は御来堂下さいは御来堂下さい 運市美濃町二五層六六八八リ癸マツサージわんぶく 辨天堂主風呂崎

・室内の装飾も美しく出来ました。 ・室内の装飾も美しく出来ました。 ・室内の装飾も美しく出来ました。 港橋食堂

してゐるのみである

元大連市信義町三七 | 東次第贈呈致します 小松家鄉總本店

東京寫眞學校

無比の滋養强世剤 小倉厚司 山本洋行

瓣、鶉 演灣等 屋洋行

地坊生花大會 開東州橋會大連本部 創立壹周年記念の為め 生花大會を開催す (一般縦覽敷迎) 場所 大廣場不學校構堂 大原場不學校構堂 大原場不學校構堂 大原場不學校構堂 大原場不學校構堂 大原場不學校構堂 大原場不學校構堂 大原場不學校構堂 大原場不學校新堂 大原場不學校五線之刊 斯東州橋會大連本部 華道家元池坊 華道家元池坊

滿

名物茶めし始めました

グ戦に對し 販賣店大連宅の店 大連唯一の港橋

日本各 界各國酒 東京風菓子謹製 白 本場なら潰 赤味噌 (根原型) 本場なら潰 地名 民蛤 珍 食 地大山市 物 00

午前八時より正午迄 日に三百個限り 旅團對抗演習終はり

時まで

有力な馬賊團

をなさな感じながら、壁に焼か伏、 でなっないでは、 しない和雄の態度に、 何となく果

れるか

一人は、もう天崎なが得う天女

CID:

てやめ、いい機能だっもう一杯なって来ませたよ」

なものを動み数してるた。

今明日開く

.ô

o de

習

新奉天署長

四ケ年戦党のよい塚様であったが、日本の都会で近日帰属を決しているのでは、「坂様であったが、大学戦争房に探索を観察方成となる。「坂様であったが、大学戦争房に探索を観察する。

古林管內人口 日全属能に繋行した関数部 は悪だ影響中であるが美人 に悪だ影響中であるが美人 である スス九人 男 四二五

吉

刀劍會の崇劍祭

哈

名刀多數を陳列とて

民會公會堂にて舉行

衛戍射擊會

出五日に開催 がて監修されるが正午終了の場立 にて窓山南天の際は坂上りを響っ にて窓山南天の際は坂上りを響っ にて窓山南天の際は坂上りを響っ にて窓山南天の際は坂上りを響っ にて窓山南天の際は坂上りを響っ にて窓山南天の際は坂上りを響っ にて窓山南天の際は坂上りを響っ

主人に重傷を負はす

さら精趣は心に云つてみた。 さら精趣は心に云つてみた。 さ、その味、想にざやしくと四さ、その味、想にざやしくと四さ、何かわけの分らないやうな眠

氷マツサージ院

山探勝會

人名を襲ふ

「あの娘がい」 「た」、きうです」 「あの娘に飲てゐる女が、ごこか 「あの娘に飲てゐる女が、ごこか

だする……」 なっての、表現のやうな紙がする……」

を実った。 和難も高く笑

で、帰ご身織へるやうな姿勢をした。 一般能に終す新りなかってくる形木の姿に跳し

を報題して金黒銀製中除頭の安那 るものであるされ出城子根人電製設定電上系に変な十三日午後七時出場 つゝあるので舞れた生態に悪歌を行ばせ頭に変な こんどの鴨地郷では、人と生態に電歌を行ばせ頭に変な こんどの鴨地郷とした。

こんどの質地鑑査をなすに至りた つ、あるので費用も経薬に比し極 ので発展にて出来よる見込がつき でごこだったかなあ……あゝ、さ 所の人だって云ってゐた。使の者 が、ダルデヤンだ。なんでも関

洋紙二式

山寨道

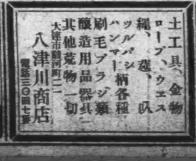
ておや、豊な娘が来たしんだ。

吉田洋行 ₩2000

儲かる副業

洋松茸 全 す 今が栽培













加烈なる 攻防戰 曉から行れた

(四)

十八日から師團演習 | 明がわり十八日頭に敵業、戦明があり十八日頭に敵業、戦 で東線生れ主流へ五八)は十五 から鶏卵五百八十餘個を排準 で一時半頃市両者松町八晩海 したのでその筋へ届げ出た

土地料と電話料

引下げ方を請願

決合三る 職能 (本本) 大大田 (本本) 大田 (十夜概)は概景顕式順以下七名の十五百個位であるさ、また日地七十五百個位であるさ、また日地七

感心な馬車夫

合に然て態度を破り沈遠し乗り 中、風渡のため旅順管内湖平は 中、風渡のため旅順管内湖平は

総標古で「今様

各機關代表者の決議

ちぬるのかれ?」 だいでも似てぬるウエートレスで

はしいて、ことのはないよの変がでだ。そうなでは、あらゆる美のながであったいにやらう。でも会び他、歴劇に生きる人ほど、人生が執験によったの中に生活をしてゆくなんて、どの中に生活をしてゆくなんて、どの中に生活をしてゆくなんて、どの中に生活をしてゆくなんて、どの中に生活をしてゆくなんて、どから云ふ帯木の筆んだ暖底で光

71

一件木真 さ、二人は偲ぶやうにして、 だか

師 小 川

への多い 語か、優切者高温し業 す以近に及び襲責さ るつ戦議会に対する で「極端にあるが、 浮本でも所有で多人 観念主である。 は各かも大は最大な 一所月の家現田職業 今に親でかる来る